



☆☆☆はじめるなら、取り組みやすい今の季節がおススメ！☆☆☆

秋の段ボールコンポスト展示・説明会を開催!!



段ボールコンポストとは、段ボール箱を使った生ごみ処理容器です。箱の中で微生物が生ごみを分解して、良質な堆肥をつくります。

秋は、防虫対策も容易で、初めての方にも取り組みやすい季節です。ぜひこの機会にチャレンジしてみませんか？

気軽に来てね!

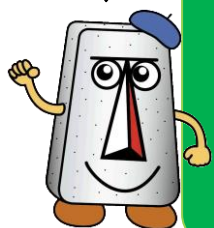
実物展示・はじめての方への説明・各種相談受付

○10月20日(月) 9:00～16:00

場所:マックスバリュ恩田店(店舗入口横)

○10月31日(金) 9:00～16:00

場所:フジグラン宇部(1階グランモール)



ここがスゴイ!

- ①簡単に始められる!
- ②生ごみが減って、ごみ出しがラクラクに! イヤな臭いも減少!
- ③安心・安全で栄養豊富な有機肥料が作れる!
- ④電気や特別な菌を使わないで出来る!
- ⑤土の香り程度で、嫌なニオイがほとんどしない!

使わなくなった服や布を、ぞうきんにリサイクル♪

古着・古布回収ボックスの正しい利用にご協力ください!!

市では、ご家庭で不用になった古着・古布を回収・加工し、ウエス(工業用雑巾)にリサイクルしています。

現在、各校区のふれあいセンター等に設置した回収ボックスは、大変多くの方にご利用いただいております。

リサイクル処理を行ううえで、加工に適さないものが混入すると、処理に支障をきたします。下記の衣類等は、回収ボックスに入れないようご注意ください。



古着・古布回収ボックス (ふれあいセンター等に設置)

回収ボックスに入れられないもの (リサイクル処理に適さないもの)

- 濡れた衣類
- 革製品
- ナイロン製品
- 綿入りの布団・座布団など
- じゅうたん・マットなど
- 小物類 下着(パンツ)、靴下、手袋、ベルト、帯、帽子、ネクタイ、マフラー、靴、かばん、ぬいぐるみ など

生ごみ減量・水切りアイデアを紹介！

～ 生ごみの減量・水切りにご協力ください～

平成24年11月12日～12月21日に募集した「生ごみ減量・水切りアイデア」にて皆様から寄せられたアイデアをご紹介します。



◇◇◇生ごみ水切り部門◇◇◇

三角コーナー・プラスチック容器等の利用改善による

生ごみの水切り方法

アイデア提供者：学校法人 香川学園 宇部環境技術センター（担当：三戸さん）

三角コーナー（写真①）または三角ボックス型プラスチック容器（写真②、側面・底に水切り用の穴を開けたもの）を利用して、上部から蓋で生ごみを押し切り、水分を除去する。

メリット

生ごみの水切りによりごみが軽くなり、ごみ出しが楽になるとともに、焼却時に発生するCO₂低減による地球温暖化対策への効果が期待できる。



①三角コーナー



②三角ボックス型プラスチック容器

◇◇◇生ごみ減量部門◇◇◇

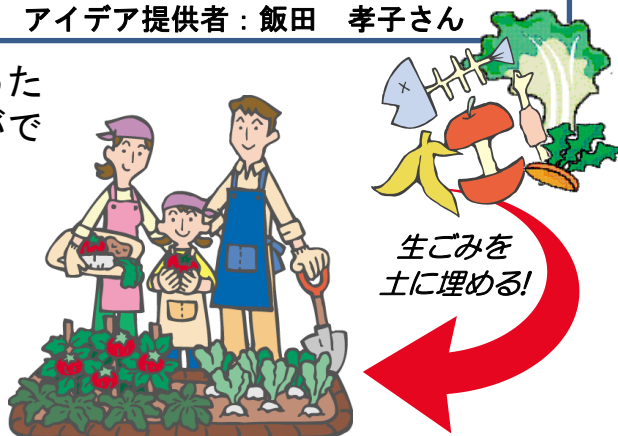
生ごみは土に返す

アイデア提供者：飯田 孝子さん

生ごみは土に埋めることにより、腐ったものが肥料となり、良い土を作ることができる。

メリット

生ごみを土の栄養分とすることで、ごみにならない。



※生ごみが未分解の状態の土に作物を植えると、生育不良等の原因となる場合があります。生ごみの分解が完全に終了してからの栽培をおすすめします。

